

令和7年度6月分

市民生活・環境関係

件名	新クリーンセンターの落札について
内容	<p>印西市吉田地区に建設される新クリーンセンターの落札に関してお伺いいたします。</p> <p>入札に2社が参加し入札価格（税別）は、S社が約262億2千万円、J社が約290億円でした。業者選定委員会が行った非価格審査結果と管理組合事務局が行った価格審査結果の合計点は、S社が82.41点、J社が82.76点となり僅差でJ社が落札しました。</p> <p>令和5年12月10日、この件に関する環境整備事業組合管理者・副管理者会議が開催されました。この会議で、副管理者である笠井市長は「環境面や運営面、最終処分コストを考えるとトータル価格が逆転し、青グループ（J社）の方が良いことが分かった。」との発言をされています。</p> <p>トータル価格が逆転したと判断された具体的な項目とその価格について、説明をよろしくお願い致します。</p>
回答	<p>次期中間処理施設整備運営事業の落札者につきましては、設計、建設費の価格部分と地域貢献等の非価格部分で採点する総合評価方式にて選定いたしました。</p> <p>事業者の選定にあたっては、非価格部分の提案内容による長期的な経済効果等も勘案し審査しており、審査講評は印西地区環境整備事業組合のホームページに掲載しておりますので、よろしければ御覧ください。</p> <p>【印西地区環境整備事業組合ホームページ】 http://www.inkan-jk.or.jp/jikisetsu/20210801-8-5.html （関係課：環境課）</p>